

人を対象とする研究に関する情報開示について

作成日： 12月 6日

下記の研究は、大阪体育大学研究公正委員会研究倫理審査部会で承認され、学長の許可を得て実施するものです。

①研究課題名	定時制高等学校の体育授業における協同学習モデルの効果
②研究期間	承認日 ～ 令和8年3月31日
③研究責任者	五十川利心（指導教員：浜上洋平）
④研究の目的と意義	<p>体育授業における協同学習の恩恵について、運動領域や認知領域の育成のみならず、情意・社会的領域については特に安定して促進的に機能していることが報告されています（栗田・大西, 2023）。これらの効果検証について、これまでに多くの実践研究がなされています（東海林ら, 2018; 松本・近藤, 2021; 栗田・大西, 2023）。しかし、ほとんどが小学校段階での実践であり、中学校以降の実践研究は少なく、高等学校とりわけ定時制高等学校の体育授業においても同様な効果が得られるのかについては研究成果の蓄積が不十分であり、断定できない状況です。</p> <p>そこで本研究の目的は、①定時制高等学校においても体育授業に協同学習モデルを取り入れることで、先行研究で認められている効果を得られるのか、②効果が得られず適用不可であるとすれば、適用における阻害要因が何かを明らかにすることです。</p>
⑤利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法）	本研究の成果を明らかにするために⑦に示す試料を利用します。
⑥研究対象者	大阪府内 A 高等学校の定時制の課程 2 年生 10 名
⑦利用する試料・情報	<p>利用する試料の収集は、量的調査法ならびに質的調査法を組み合わせで行います。量的データは、①形成的授業評価法（高橋ほか, 2003）、②主張的・認知的共感性尺度（倉盛, 1999）、③学級適応感尺度（江村・大久保, 2012）の質問紙調査票を用いて収集します。質的データは、④授業者へのインタビュー、⑤生徒へのインタビュー、⑥フィールドノートを用いて収集します。なお、授業中の学習活動の実態を分析するため、授業の映像をタブレット端末で撮影します。</p>
⑧利用する試料・情報の収集期間	承認日～2025年1月23日
⑨試料・情報を利用する者	研究責任者及び指導教員
⑩試料・情報の利用または他の研究機関への提供の停止について	ご本人またはその代諾者のご希望により、試料・情報の利用を停止することができます。試料・情報の利用または提供の停止を希望される方は下記の問い合わせ先

	でお申し出ください。
①試料・情報の管理について責任を有する者（お問い合わせ先）	所属：大阪体育大学 教育学部 教育学科 責任者（指導教員）：浜上洋平 Tel：072-479-3227 E-mail：hamagami@ouhs.ac.jp